

科目(講座)	グレード	単位数	開設形態	履修形態
科学と人間生活(①・②)	基礎	2	通年(半期認定)	選択必修履修科目
科学と人間生活	基礎	2	半期完結	
対象	◎ 新入生向け(高1相当)	△ 在校生向け(高2相当)	△ 卒業予定生向け(高3相当)	
	◎ 教養・基礎学力養成	× 専門学校に対応	× 大学入試に対応	
受講条件	なし			
学習内容	物理・化学・生物・地学分野における、身近なことからについて学習する。 (物理分野) 光の性質とその利用・熱の性質とその利用 (化学分野) 材料とその利用・衣料と食品 (生物分野) ヒトの生命現象・微生物とその利用 (地学分野) 太陽と地球・自然景観と自然災害			
評価	評価の観点	評価のポイント		観点別評価の内訳
	知識 技能	小テスト		40%
	思考 判断 表現	授業プリント 提出物		30%
	主体的に 学習に取り 組む態度	授業態度 提出物		30%
備考	なし			

科目(講座)	グレード	単位数	開設形態	履修形態
物理基礎①	標準	1	前期	選択必修履修科目
物理基礎②	標準	1	後期	
対象	○ 新入生向け(高1相当)	◎ 在校生向け(高2相当)	△ 卒業予定生向け(高3相当)	
	× 教養・基礎学力養成	△ 専門学校に対応	◎ 大学入試に対応	
受講条件	なし			
学習内容	(物体の運動とエネルギー)・・・速さ・加速度・重力加速度・力・運動方程式 (熱)・・・温度・熱容量・比熱 (波)・・・縦波と横波・音・共振 (電気と磁気)・・・静電気・電流・抵抗 (物理と私たちの生活)・・・放射線・原子力			
評価	評価の観点	評価のポイント		観点別評価の内訳
	知識 技能	小テスト		40%
	思考 判断 表現	小テスト 提出物		30%
	主体的に 学習に取り 組む態度	小テスト 授業態度		30%
備考	なし			

科目(講座)	グレード	単位数	開設形態	履修形態
物理基礎①	応用	1	前期	選択科目
物理基礎②	応用	1	後期	
対象	× 新入生向け(高1相当)	△ 在校生向け(高2相当)	◎ 卒業予定生向け(高3相当)	
	× 教養・基礎学力養成	× 専門学校に対応	◎ 大学入試に対応	
受講条件	物理基礎(標準)を修得していること。			
学習内容	運動とエネルギー・熱・波動・電気分野における問題演習を中心に行う。 大学入学共通テスト(物理基礎)対策を行う。			
評価	評価の観点	評価のポイント		観点別評価の内訳
	知識 技能	小テスト		40%
	思考 判断 表現	小テスト 提出物		30%
	主体的に 学習に取り 組む態度	小テスト 授業態度		30%
備考	なし			

科目(講座)	グレード	単位数	開設形態	履修形態
物理①	発展	2	前期	選択科目
物理②	発展	2	後期	
対象	× 新入生向け(高1相当)	○ 在校生向け(高2相当)	◎ 卒業予定生向け(高3相当)	
	× 教養・基礎学力養成	× 専門学校に対応	◎ 大学入試に対応	
受講条件	物理基礎(標準)を修得していること。			
学習内容	平面内の運動・剛体・運動量・円運動・単振動・万有引力・気体の状態方程式、 波の伝わり方・ドップラー効果、電場・電位・電磁誘導・交流、原子 など 大学入学試験(物理)の範囲を学習する。			
評価	評価の観点	評価のポイント		観点別評価の内訳
	知識 技能	小テスト		40%
	思考 判断 表現	小テスト 提出物		30%
	主体的に 学習に取り 組む態度	小テスト 授業態度		30%
備考	なし			

科目(講座)	グレード	単位数	開設形態	履修形態
物理①	応用	1	前期	選択科目
物理②	応用	1	後期	
対象	× 新入生向け(高1相当)	△ 在校生向け(高2相当)	◎ 卒業予定生向け(高3相当)	
	× 教養・基礎学力養成	× 専門学校に対応	◎ 大学入試に対応	
受講条件	物理(発展)と同時受講または修得後に受講すること。			
学習内容	平面内の運動・剛体・運動量・円運動・単振動・万有引力・気体の状態方程式、波の伝わり方・ドップラー効果、電場・電位・電磁誘導・交流、原子 など 大学入学試験(物理)対策など、問題演習を中心に行う。			
評価	評価の観点	評価のポイント		観点別評価の内訳
	知識 技能	小テスト		40%
	思考 判断 表現	小テスト 提出物		30%
	主体的に 学習に取り 組む態度	小テスト 授業態度		30%
備考	なし			

科目(講座)	グレード	単位数	開設形態	履修形態
化学基礎①	標準	1	前期	選択必履修科目
化学基礎②	標準	1	後期	
対象	◎ 新入生向け(高1相当)	○ 在校生向け(高2相当)	△ 卒業予定生向け(高3相当)	
	× 教養・基礎学力養成	○ 専門学校に対応	◎ 大学入試に対応	
受講条件	なし			
学習内容	(物質の成分と構成元素)…………化合物・単体・電子配置・イオン (化学結合)…………イオン結合・共有結合・金属結合 (物質量)…………相対質量・アボガドロ定数 (酸と塩基)…………価数・酸と塩基の強弱・中和 (酸化還元)…………酸化数・酸化剤と還元剤			
評価	評価の観点	評価のポイント		観点別評価の内訳
	知識 技能	小テスト		40%
	思考 判断 表現	小テスト 提出物		30%
	主体的に 学習に取り 組む態度	小テスト 授業態度		30%
備考	なし			

科目(講座)	グレード	単位数	開設形態	履修形態
化学基礎①	応用	1	前期	選択科目
化学基礎②	応用	1	前期	
対象	× 新入生向け(高1相当)	△ 在校生向け(高2相当)	◎ 卒業予定生向け(高3相当)	
	× 教養・基礎学力養成	× 専門学校に対応	◎ 大学入試に対応	
受講条件	化学基礎(標準)を修得していること。			
学習内容	物質の構成・化学結合・物質の質量・酸と塩基・酸化還元における問題演習を中心に行う。 大学入学共通テスト(化学基礎)対策を行う。			
評価	評価の観点	評価のポイント		観点別評価の内訳
	知識 技能	小テスト		40%
	思考 判断 表現	小テスト 提出物		30%
	主体的に 学習に取り 組む態度	小テスト 授業態度		30%
備考	なし			

科目(講座)	グレード	単位数	開設形態	履修形態
化学①	発展	2	前期	選択科目
化学②	発展	2	後期	
対象	× 新入生向け(高1相当)	◎ 在校生向け(高2相当)	○ 卒業予定生向け(高3相当)	
	× 教養・基礎学力養成	△ 専門学校に対応	◎ 大学入試に対応	
受講条件	化学基礎(標準)を修得していること。			
学習内容	状態変化・ボイル・シャルルの法則・結晶の構造・溶液、ヘスの法則・反応速度、 無機物質、有機化合物 など 大学入学試験(化学)の範囲を学習する。			
評価	評価の観点	評価のポイント		観点別評価の内訳
	知識 技能	小テスト		40%
	思考 判断 表現	小テスト 提出物		30%
	主体的に 学習に取り 組む態度	小テスト 授業態度		30%
備考	なし			

科目(講座)	グレード	単位数	開設形態	履修形態
化学①	応用	1	前期	選択科目
化学②	応用	1	後期	
対象	× 新入生向け(高1相当)	△ 在校生向け(高2相当)	◎ 卒業予定生向け(高3相当)	
	× 教養・基礎学力養成	× 専門学校に対応	◎ 大学入試に対応	
受講条件	化学(発展)と同時受講または修得後に受講すること。			
学習内容	状態変化・ボイル・シャルルの法則・結晶の構造・溶液、ヘスの法則・反応速度、無機物質、有機化合物 など 大学入学試験(化学)対策など、問題演習を中心に行う。			
評価	評価の観点	評価のポイント		観点別評価の内訳
	知識 技能	小テスト		40%
	思考 判断 表現	小テスト 提出物		30%
	主体的に 学習に取り 組む態度	小テスト 授業態度		30%
備考	なし			

科目(講座)	グレード	単位数	開設形態	履修形態
生物基礎①	標準	1	前期	選択必履修科目
生物基礎②	標準	1	後期	
対象	○ 新入生向け(高1相当)	◎ 在校生向け(高2相当)	△ 卒業予定生向け(高3相当)	
	◎ 教養・基礎学力養成	◎ 専門学校に対応	◎ 大学入試に対応	
受講条件	なし			
学習内容	(生物の特徴) ……細胞・ATP・呼吸と光合成 (遺伝情報とDNA) ……DNAの構造・タンパク質 (ヒトの体の調節) ……神経系・ホルモン・免疫 (植生) ……遷移・バイオーム (生態系) ……生物の多様性・生物間の関係・攪乱			
評価	評価の観点	評価のポイント		観点別評価の内訳
	知識 技能	小テスト		40%
	思考 判断 表現	小テスト 提出物		30%
	主体的に 学習に取り 組む態度	小テスト 授業態度		30%
備考	なし			

科目(講座)	グレード	単位数	開設形態	履修形態
生物基礎①	応用	1	前期	選択必修履修科目
生物基礎②	応用	1	後期	
対象	× 新入生向け(高1相当)	△ 在校生向け(高2相当)	◎ 卒業予定生向け(高3相当)	
	× 教養・基礎学力養成	○ 専門学校に対応	◎ 大学入試に対応	
受講条件	生物基礎(標準)を修得していること。			
学習内容	生物の特徴・DNA・体内環境・免疫・植生における問題演習を中心に行う。 大学入学共通テスト(生物基礎)対策を行う。			
評価	評価の観点	評価のポイント		観点別評価の内訳
	知識 技能	小テスト		40%
	思考 判断 表現	小テスト 提出物		30%
	主体的に 学習に取り 組む態度	小テスト 授業態度		30%
備考	なし			

科目(講座)	グレード	単位数	開設形態	履修形態
生物①	発展	2	前期	選択科目
生物②	発展	2	後期	
対象	× 新入生向け(高1相当)	○ 在校生向け(高2相当)	◎ 卒業予定生向け(高3相当)	
	× 教養・基礎学力養成	△ 専門学校に対応	◎ 大学入試に対応	
受講条件	生物基礎(標準)を修得していること。			
学習内容	生命の起源・遺伝子、生体膜・タンパク質・酵素・代謝、発生と遺伝子発現 刺激の受容・生得的行動・習得的行動・環境応答、個体群と生物群集 など 大学入学試験(生物)の範囲を学習する。			
評価	評価の観点	評価のポイント		観点別評価の内訳
	知識 技能	小テスト		40%
	思考 判断 表現	小テスト 提出物		30%
	主体的に 学習に取り 組む態度	小テスト 授業態度		30%
備考	なし			

科目(講座)	グレード	単位数	開設形態	履修形態
生物①	応用	1	前期	選択科目
生物②	応用	1	後期	
対象	× 新入生向け(高1相当)	△ 在校生向け(高2相当)	◎ 卒業予定生向け(高3相当)	
	× 教養・基礎学力養成	× 専門学校に対応	◎ 大学入試に対応	
受講条件	生物(発展)と同時受講または修得後に受講すること。			
学習内容	生命の起源・遺伝子、生体膜・タンパク質・酵素・代謝、発生と遺伝子発現 刺激の受容・生得的行動・習得的行動・環境応答、個体群と生物群集 など 大学入学試験(生物)対策など、問題演習を中心に行う。			
評価	評価の観点	評価のポイント		観点別評価の内訳
	知識 技能	小テスト		40%
	思考 判断 表現	小テスト 提出物		30%
	主体的に 学習に取り 組む態度	小テスト 授業態度		30%
備考	なし			

科目(講座)	グレード	単位数	開設形態	履修形態
教養理科a	標準	1	前期	選択科目
教養理科b	標準	1	後期	
対象	△ 新入生向け(高1相当)	◎ 在校生向け(高2相当)	○ 卒業予定生向け(高3相当)	
	◎ 教養・基礎学力養成	○ 専門学校に対応	× 大学入試に対応	
受講条件	なし			
学習内容	物理・化学・生物・地学分野における、問題演習を行う。			
評価	評価の観点	評価のポイント		観点別評価の内訳
	知識 技能	小テスト		40%
	思考 判断 表現	小テスト 提出物		30%
	主体的に 学習に取り 組む態度	小テスト 授業態度		30%
備考	公務員志望の生徒が対象			

科目(講座)	グレード	単位数	開設形態	履修形態
教養理科a	発展	1	前期	選択科目
教養理科b	発展	1	後期	
対象	△ 新入生向け(高1相当)	○ 在校生向け(高2相当)	◎ 卒業予定生向け(高3相当)	
	◎ 教養・基礎学力養成	○ 専門学校に対応	× 大学入試に対応	
受講条件	教養理科(標準)を修得していることが望ましい。			
学習内容	物理・化学・生物・地学分野における、問題演習を行う。			
評価	評価の観点	評価のポイント		観点別評価の内訳
	知識 技能	小テスト		40%
	思考 判断 表現	小テスト 提出物		30%
	主体的に 学習に取り 組む態度	小テスト 授業態度		30%
備考	公務員志望の生徒が対象			